

学習漢字の字種選定に関する一考察

—親密度上位の非学習漢字3字種「恋」「香」「彼」を中心に—

丹 保 健 一

A Study of the Choice of Chinese Characters for the Primary School Kanji Table: Based on Three Non-Primary School Kanji with High Familiarity

Ken-ichi TAMBO

はじめに

本研究は、親密度が高いにもかかわらず学習漢字（学年別漢字配当表の漢字1006字）に入っていない字種「恋」「香」「彼」を取り上げ、学習漢字としての是非について考察したものである。

1. 先行研究

学習漢字や常用漢字の選択基準に関する研究については、丹保（2013）などで紹介したので、ここでは省略する。

2. 「恋」「香」「彼」の実態

2. 1. 文字の親密度^{注(1)}

学習漢字と文字親密度には強い相関関係がある。例えば、親密度6.62以上の漢字はすべて学習漢字(81字)であり、親密度6.5以上においても、98.98% (163/165) が学習漢字である。ちなみに、親密度6.5以上の漢字(167字)で学習漢字でないものは「恋」と「香」の2字のみである。また、親密度4.75以下には学習漢字は見られない。

今回取り上げた「恋」「香」「彼」の親密度はそれぞれ、「6.58」「6.50」「6.46」である。これらは非学習漢字の中で親密度上位の3字種(表1_1参照)である。親密度「6.58」、「6.50」、「6.46」に含まれる字種(表1_2~1_4)を見ても分かるように、これらの3語と同じ親密度を持つ漢字はすべて学習漢字である。しかも、低学年配当漢字が多く見られる。親密度から見れば、「恋」「香」「彼」の3語は、それぞれ83位(同順位34字)、140位(同順位29字)168位(同順位44字)であり、学習漢字と位置づけてもおかしくない字種と言えよう。

文字親密度と学習漢字との相関関係は強いと言われているにもかかわらず、なぜこれら3字種が学習漢字に選出されてこなかったのだろうか。

表 1_1. 旧漢字における親密度高位の非学習漢字一覧（上位 10 字種）

※「X/1945」列は、旧漢字中における親密度（降順）の順位を示す。括弧内は同順位の字種数

順位	X/1945	字種	親密度
1	83 (34)	恋	6.58
2	140 (29)	香	6.50
3	168 (44)	彼	6.46
4	212 (33)	井	6.42
5	272 (27)	吉	6.37

6	338 (40)	巨	6.29
7	338 (40)	江	6.29
8	338 (40)	佐	6.29
9	338 (40)	浜	6.29
10	338 (40)	与	6.29

表 1_2. 親密度 6.58 の字種（「学年」列の「常」は常用漢字を、数値は学年別漢字配当表における配当学年を示す。以下同じ。）

字種	学年
恋	常
王	1
音	1
九	1
山	1
青	1
石	1
先	1
千	1

川	1
早	1
足	1
夕	1
林	1
海	2
行	2
黒	2
止	2
秋	2

前	2
朝	2
同	2
南	2
母	2
明	2
野	2
話	2
安	3
県	3

真	3
世	3
和	3
清	4
夢	5

表 1_3. 新密度 6.50 の字種

字種	学年
香	常
糸	1
虫	1
歌	2
間	2
牛	2
古	2

戸	2
交	2
自	2
首	2
食	2
新	2
親	2
雪	2

走	2
太	2
地	2
意	3
幸	3
実	3
全	3
代	3

品	3
様	3
氏	4
不	4
良	4
可	5

表 1_4. 親密度 6.46 の字種

字種	学年
彼	常
火	1
花	1

気	1
字	1
二	1
回	2

絵	2
魚	2
後	2
語	2

工	2
国	2
作	2
紙	2

学習漢字の字種選定に関する一考察

書	2
数	2
谷	2
直	2
刀	2
頭	2
馬	2
聞	2

方	2
毛	2
開	3
起	3
血	3
使	3
死	3
持	3

守	3
受	3
昭	3
身	3
度	3
表	3
旅	3
英	4

好	4
付	4
若	6
聖	6
優	6

2. 2. 使用頻度（順位は旧常用漢字 1945 字中）。

現代日本語書き言葉均衡コーパス（以下、JCCWJ という）によると、3 語の頻度は、「恋」は 925 位、「香」は 721 位、「彼」は 88 位である。学習漢字全体の数が 1006 語であることからすれば、使用頻度の観点からは学習漢字の可能性が大きいといえることができる。

しかし、可能性が大きいといっても、「彼」の 88 位を除けば、それほど上位にあるとは言えない。下記の表 2_1～2_3 は、3 語の頻度に近い前後 5 字種計 10 字種の配当学年（「常」は非学習漢字の常用漢字）を示したものである。「恋」「香」とりわけ「恋」の前後 5 字種には、非学習漢字がかなり見られる。非学習漢字の割合は、「恋」63.64%、「香」27.27%、「彼」0.00%である。

表 2.1. 「恋」の頻度（順位）に近い前後 5 字種計 10 字種

（左列は旧常用漢字 1945 字中の順位、中央の列は語形、右列の「常」は常用漢字、数値は配当学年を示す。）

920	弾	常
921	驚	常
922	較	常

923	涙	常
924	悲	3
925	恋	常

926	丈	常
927	純	6
928	床	常

929	券	5
930	永	5

表 2.2. 「香」の頻度（順位）に近い前後 5 字種計 10 字種

707	層	6
708	破	5
709	診	常

710	挙	4
711	清	4
712	香	常

713	困	6
714	順	4
715	蔵	6

716	逆	5
717	超	常

表 2.3. 「彼」の頻度（順位）に近い前後 5 字種計 10 字種

83	考	2
84	心	2
85	話	2

86	小	1
87	知	2
88	彼	7

89	現	5
90	取	3
91	以	4

92	明	2
93	最	4

2. 3. 教育基本語彙

学習漢字の選択において、常用漢字と大きく異なる基準の一つに、大人ではなく「子供達がどれほど必要としているか」がある。各々の字種が各種の教育基本語彙表に見られる語彙としてどれほど使われているかを探してみたい。

「恋」「香」「彼」を含む教育基本語彙を『教育基本語彙の基本的研究—増補改訂版—』によってまとめたのが次の表3である。(時代遅れになってしまったと思われる語彙も見られるが、本研究の結論に大きな影響を及ぼすものではないと思われる。)

表3. 教育基本語彙集に見られる「恋」「香」「彼」を含む語彙

読み	語形	坂	新	田	池	児	中	国	計
<恋>									
こい	恋	C1	C1					○	3
こいしい	恋しい	C1	C1					○	3
こいする	恋する							○	1
こいなか	恋仲	C4	C4						2
こいびと	恋人	C4	C4					◎	3
しつれん	失恋	C4	C4						2
はつこい	初恋	C4							1
れんあい	恋愛	C1	C1					◎	3
れんれん	恋恋		C4						1
<香>									
か	香	C2	C2						2
かおり	薫り・香り	B1	B1	⑥			B	○	5
かおる	薫る・香る・×馨る	B1	B1				B		3
かぐわしい	△香しい・△芳しい・×馨しい	C4	C4						2
こう	香	C1	C1						2
こうき	香気	C2	C2						2
こうすい	香水	A1	A1					○	3
こうでん	香典・香×奠	C4	C4						2
こうのもの	香の物		B2						1
こうばしい	香ばしい・△芳ばしい	B2	B3						2
こうりょう	香料	C3	C3						2
しょうこう	焼香	C1	C1						2
せんこう	線香	B2		⑤					2
せんこうはなび	線香花火	A2	A2						2
ほうこう	芳香	C4	C4						2
<彼>									
あいつ	△彼△奴	A2	A2						2
あすこ	△彼△処		A1						1
あそこ	△彼△処	A1	A1		1B2		A	◎	5
あちら	<彼方>	A1		②	1B1		A	◎	5
あちらこちら	<彼方×此方>	A2	A2					○	3
あっち	<彼方>	A2	A2	①	2A		A		5

学習漢字の字種選定に関する一考察

あなた	〈彼方〉	C2		①	1A2		A		4
あのよ	△彼の世	C2	C2						2
あれこれ	△彼△是	A2	A2				○		3
あれほど	△彼程	A2	A2						2
かなた	〈彼方〉	B1	B1	⑥					3
かの	△彼の	C1	C1						2
かのじよ	彼女	C3	C3				◎		3
かれ	彼	B1	B1				◎		3
かれし	彼氏		B1						1
かれら	彼△等	B2	B2				○		3
だれかれ	×誰彼	B3	B3						2
なにかと	何△彼と	B2	B2						2
なにかも	何も△彼も	B2	B2						2
なにやかや	何や△彼や	B3	B3						2
ひが	彼我	C4	C4						2
ひがん	彼岸	A1	A1						2
ひがんざくら	彼岸桜	B3	B3						2
ひがんばな	彼岸花	B3	B3						2

※△は旧常用漢字外の音訓であることを、×は旧常用漢字外漢字であることを、△は旧常用漢字表付表にない熟字訓であることを示す。

※「阪」、「新」、「田」、「池」、「児」、「中」、「国」、は各々、「阪本一郎『教育基本語彙』(1958) (24740 語)」、「阪本一郎『新教育基本語彙』(1984) (20864 語)」、「田中久直『学習基本語彙』(1956) (3456 語)」、「池原権雄『国語教育のための基本語体系』(1957) (2989 語)」、「児童言語研究会『言語要素指導』(1962) (1843 語)」、「中央教育研究所『学習基本語彙』(1984) (4336 語)」、「国立国語研究所『日本語教育のための基本語彙調査』(1984) (6104 語)」を示す。

※「阪」「新」においては、A1～A3は小学校第1～第3学年、B1～B3は小学校第4～第6学年、C1～C3は中学校、「田中」においては、①～⑥は各学年、「池原」においては、1A～3Bは重要度、「児言研」においては、小A、小B、中A、中Bは、学習段階(小学校中学校)と重要度(Aの方が重要)、「中央」においては、Aは小学校低学年、Bは小学校中学年、Cは小学校高学年、「国研」においては、◎は2071語、○は4033語、◎の方がより基本的な語であることを示している。

各字種が教育基本語彙(上記の表3)としてどれほど用いられているかを示したものが下記の表4_1～4_3である。(カタカナ文中の語、未知語は対象としてしない。^{注(2)})

表4_1「恋」の使用頻度・割合

読み	語形	頻度	頻度%	累積	累積%
コイ	恋	4002	32.723%	4002	32.723%
レンアイ	恋愛	3270	26.738%	7272	59.460%
コイビト	恋人	3031	24.783%	10303	84.244%
シツレン	失恋	298	2.437%	10601	86.680%
ハツコイ	初恋	248	2.028%	10849	88.708%
コイシイ	恋しく	164	1.341%	11013	90.049%
コイシイ	恋しい	127	1.038%	11140	91.087%

ヒレン	悲恋	64	0.523%	11204	91.611%
コイナカ	恋仲	40	0.327%	11244	91.938%
コイシイ	恋し	36	0.294%	11280	92.232%
コイシイ	恋しかっ	22	0.180%	11302	92.412%
ヒトコイシイ	人恋し	21	0.172%	11323	92.584%
ヒトコイシイ	人恋しく	18	0.147%	11341	92.731%
レンレン	恋々	13	0.106%	11354	92.837%
ヒトコイシイ	人恋しい	12	0.098%	11366	92.935%
レンレン	恋恋	6	0.049%	11372	92.984%
コイビト	恋びと	4	0.033%	11376	93.017%
コイビト	恋いびと	3	0.025%	11379	93.042%
ヒトコイシイ	人恋しかっ	2	0.016%	11381	93.058%

表 4_2 「香」の使用頻度・割合

読み	語形	頻度	頻度%	累積	累積%
カオリ	香り	4319	23.780%	4319	23.780%
コウ	香	1022	5.627%	5341	29.408%
コウスイ	香水	650	3.579%	5991	32.986%
センコウ	線香	367	2.021%	6358	35.007%
コウデン	香典	234	1.288%	6592	36.296%
コウリョウ	香料	222	1.222%	6814	37.518%
コウバシイ	香ばしい	181	0.997%	6995	38.514%
ショウコウ	焼香	157	0.864%	7152	39.379%
コウバシイ	香ばしく	106	0.584%	7258	39.963%
コウノモノ	香の物	46	0.253%	7304	40.216%
コウノモノ	香のもの	13	0.072%	7317	40.287%
カグワシイ	香しい	3	0.017%	7320	40.304%
カグワシイ	香ぐわしい	1	0.006%	7321	40.309%
カグワシイ	香ぐわし	1	0.006%	7322	40.315%
カグワシイ	香ぐわしかっ	1	0.006%	7323	40.320%
カグワシイ	香ぐわしく	1	0.006%	7324	40.326%
カグワシイ	香ぐはし	1	0.006%	7325	40.331%
カグワシイ	香わしく	1	0.006%	7326	40.337%

表 4_3 「彼」の使用頻度の頻度・割合（*は代名詞であることを示す。）

読み	語形	頻度	頻度%	累積	累積%
カレ	*彼	66958	51.117%	66958	51.117%
カノジョ	*彼女	36934	28.196%	103892	79.314%

学習漢字の字種選定に関する一考察

カレラ	*彼ら	17786	13.578%	121678	92.892%
カノジョタチ	*彼女たち	1187	0.906%	122865	93.798%
カレラ	*彼等	1048	0.800%	123913	94.598%
カノジョラ	*彼女ら	340	0.260%	124253	94.858%
カノジョタチ	*彼女達	95	0.073%	124348	94.930%
ヒガ	*彼我	86	0.066%	124434	94.996%
オヒガン	お彼岸	83	0.063%	124517	95.059%
ヒガンゲ	彼岸花	71	0.054%	124588	95.113%

上記の表 4_1~4_3 を見ると、3 語は共に親密度高位の字種であるものの、その内実がかなり異なっていることを知ることができる。「恋」は、そのほとんど (93.058%) が教育基本語彙に含まれている。「香」は、教育基本語彙として使用されているものは過半数にも達していない (40.337%)。また、「香」は、固有名詞 (人名・地名) の頻度が高い (47.178%・8569/18163) という大きな特徴を持っている。ちなみに、「恋」の固有名詞 (人名・地名) の割合は、1.7% (210/12231)、「彼」のそれは、0.015% (19/130989) である。「彼」は、95.113%が教育基本語彙として使用されているものの、そのうちの 99.876%が人称代名詞である。^{注(3)}

固有名詞 (地名人名) や人称代名詞であることが学習漢字の選定に影響を与えているのであろうか。これについては後に触れることにしたい。

2. 4. 教科書語彙^{注(4)}

小・中学校教科書に用いられている語彙 (語句としての表記は漢字を用いているが、教科書における表記は、漢字表記、またはそれに対応する音訓の仮名表記) についても見ておこう。表 5_1_2、表 5_2_2、表 5_3_2 は、小・中学校の教科書に見られる語彙として使用されている各字種の使用頻度 (BCCWJ) である。ただし、カタカナ文中の語句、未知語は対象としていない。

下記の表 5_1_2、表 5_2_2、表 5_3_2 を見ても分かるように、教科書に見られる語彙としての使用率は、教育基本語彙と同様の傾向を示している。

表 5_1_1. 小・中学校教科書に見られる「恋」を含む語句

(恋)	語句	小	中	計					
コイ	恋	0	6	6	コイビト	恋人	0	1	1
コイゴコロ	恋心	0	1	1	コイブミ	恋文	1	1	2
コイゴロモ	恋衣	0	1	1	ヒレン	悲恋	0	1	1
コイシイ	恋しい	0	2	2	レンアイ	恋愛	0	1	1
					計		1	14	15

表 5_1_2. 「恋」を含む (小・中教科書) 語彙の BCCWJ における頻度・割合

	読み	語句	頻度	頻度%	累積	累積%
1	コイ	恋	4002	32.723%	4002	32.723%
2	レンアイ	恋愛	3270	26.738%	7272	59.460%

3	コイビト	恋人	3031	24.783%	10303	84.244%
6	コイシイ	恋しく	164	1.341%	11013	90.049%
7	コイゴコロ	恋心	138	1.128%	11151	91.177%
8	コイシイ	恋しい	127	1.038%	11278	92.216%
10	ヒレン	悲恋	64	0.523%	11411	93.303%
12	コイブミ	恋文	56	0.458%	11524	94.227%

表 5_2_1. 教科書に見られる「香」を含む語句

読み	語句	小	中	計	コウリョウ	香料	0	5	5
カオル	香る	1	0	1	コウロ	香炉	0	3	3
コウ	香	0	5	5	センコウ	線香	2	14	16
コウシン	香辛	0	5	5	ホウコウ	芳香	0	1	1
コウノモノ	香の物	0	1	1	計		8	48	56

表 5_2_2. 「香」を含む（小・中教科書）語彙の BCCWJ における頻度・割合

	読み	語句	頻度	頻度%	累積	累積%
1	カオリ	香り	4319	23.780%	4319	23.780%
3	コウ	香	1022	5.627%	5341	29.408%
6	センコウ	線香	367	2.021%	5708	31.428%
11	ホウコウ	芳香	301	1.657%	6009	33.086%
14	コウリョウ	香料	222	1.222%	6231	34.308%
23	コウロ	香炉	116	0.639%	6347	34.947%
39	カオル	香る	79	0.435%	6426	35.382%
62	コウノモノ	香の物	46	0.253%	6472	35.635%
73	カオリヅケ	香りづけ	31	0.171%	6503	35.806%
94	カオル	香っ	21	0.116%	6524	35.921%
99	カオリヅケ	香り付け	19	0.105%	6543	36.026%
123	コウノモノ	香のもの	13	0.072%	6556	36.097%
231	カオリヅケ	香りつけ	3	0.017%	6559	36.114%
249	ホウコウ	芳香	3	0.017%	6562	36.130%
279	サキカオル	咲き香っ	2	0.011%	6564	36.141%
278	サキカオル	咲き香る	2	0.011%	6566	36.152%

表 5_3_1 教科書に見られる「彼」を含む語句（△は常用漢字外音訓）

読み	語句	小	中	計	アノ	△彼の	67	58	125
アソコ	△彼処	4	6	10	アレ	△彼れ	18	21	39
アチラ	△彼方	6	7	13	アレコレ	△彼是	0	4	4
アチラコチラ	△彼方此方	17	9	26	カ	△彼	2	3	5

学習漢字の字種選定に関する一考察

カナタ	△彼方	6	17	23
カノ	△彼の	0	2	2
カノジョ	彼女	0	18	18
カレ	彼	10	190	200

カレコレ	△彼此	0	1	1
ヒガン	彼岸	2	1	3
計		134	338	472

表 5_3_2. 「彼」を含む（小・中教科書）語彙（常用漢字外音訓を除く）の BCCWJ における頻度・割合（語句が多様・644 種であるため上位・累計 98.660%まで示した。（他の語句、例えば、「彼ら彼女ら」「彼ら以外」等々を含めれば更にその割合は高くなる。）

1	カレ	彼	66958	51.117%	66958	51.117%
2	カノジョ	彼女	36934	28.196%	103892	79.314%
3	カレラ	彼ら	17786	13.578%	121678	92.892%
4	カレシ	彼氏	2500	1.909%	124178	94.800%
5	カノジョたち	彼女たち	1187	0.906%	125365	95.707%
6	カレラ	彼等	1048	0.800%	126413	96.507%
7	カレジシン	彼自身	737	0.563%	127150	97.069%
8	カナタ	彼方	729	0.557%	127879	97.626%
9	カノジョら	彼女ら	340	0.260%	128219	97.885%
10	カノジョジシン	彼女自身	271	0.207%	128490	98.092%
11	ヒガン	彼岸	235	0.179%	128725	98.272%
12	カレラジシン	彼ら自身	161	0.123%	128886	98.395%
13	モトカレ	元彼	157	0.120%	129043	98.514%
14	カレナリ	彼なり	96	0.073%	129139	98.588%
15	カノジョたち	彼女達	95	0.073%	129234	<u>98.660%</u>

2. 5. 習得率^{注(5)}

どのような重要な語彙であっても、学習上の負担が大きく習得困難なものであってはならない。そのような視点から、3 字種の習得率についても見ておこう。

下記に示した、表 6_1 を見ると、「恋」、「香」、「彼」の 3 字種は、非学習漢字であるにもかかわらず、その習得率は低い訳ではない。表 6_2～表 6_7 を見ても分かるように、同程度の習得率である漢字には学習漢字が多く見られる。とりわけ、「彼」に関しては、同程度の習得率に属する漢字の多くが学習漢字である。習得率からは、これらの 3 字種は、学習漢字として資格ありといえよう。

表 6_1. 「恋」「香」「彼」の習得率 (%)。

(書き)

字種	語句	習得率
恋	恋しい	<u>58.5</u>

香	香水	<u>58.0</u>
彼	彼	<u>81.8</u>

(読み)

恋	恋しい	<u>81.8</u>
香	香水	<u>94.7</u>

彼	彼	<u>98.5</u>
---	---	-------------

表 6_2 「恋」(書き) と習得率が近い漢字 (学年の列の数値は配当学年、「常」はそれ以外の常用漢字を示す。)

	語句	学年	習得率
沖	沖	常	59.1
疑	疑問	6	59.1
経	経済	5	59.1

判	判断	5	59.1
製	製造	5	59
恋	恋しい	常	58.5
際	実際	5	58.4

郵	郵便	6	58.4
鬼	鬼	常	58.1
墳	古墳	常	58.1

表 6_3 「香」(書き)

際	実際	5	58.4
郵	郵便	6	58.4
鬼	鬼	常	58.1

墳	古墳	常	58.1
額	金額	5	58
香	香水	常	58

義	義務	5	57.9
程	程度	5	57.9

表 6_4 「彼」(書き)

箱	巣箱	3	81.9
希	希望	4	81.8

静	静か	4	81.8
彼	彼	常	81.8

料	材料	4	81.8
給	給食	4	81.7

表 6_5 「恋」(読み)

畜	牧畜	常	82
必	不必要	4	82
弦	弦楽器	常	81.9

恋	恋しい	常	81.8
決	決して	3	81.8
秀	優秀	常	81.8

墨	墨をする	常	81.7
---	------	---	------

表 6_6 「香」(読み)

灰	灰ざら	6	94.7
菌	細菌	常	94.7
香	香水	常	94.7

召	召し使い	常	94.7
胞	細胞	常	94.7
肪	脂肪	常	94.7

雷	雷	常	94.7
---	---	---	------

表 6_7 「彼」(読み)

応	応接	5	98.5
皆	皆さん	常	98.5
簡	簡単	6	98.5
泣	泣く	4	98.5
協	協力	4	98.5
警	警察署	6	98.5
減	減る	5	98.5

豪	豪華	常	98.5
最	最初	4	98.5
菜	菜のはな	4	98.5
皿	お皿	3	98.5
磁	磁石	6	98.5
辞	辞典	4	98.5
授	授業	5	98.5

条	条件	5	98.5
状	状態	5	98.5
遅	遅刻	常	98.5
彼	彼	常	98.5
閉	閉じる	6	98.5
僕	僕	常	98.5

2. 6. その他 (画数・複雑度・音訓)

2. 6. 1 画数・複雑度^{注(6)}

画数が多く複雑度が高い場合、学習上の弊害となることが考えられるが、下記の表 7_1、表 7_2 を見て分かるように、「恋」「香」「彼」と同一の画数、複雑度を持つ旧常用漢字における学習漢字の割合は、47%から 60%であり、3 語に関して言えば、画数、複雑度からは学習漢字の可能性を否定できないということになる。

表 7_1 同一画数に占める学習漢字の割合

字種	画数	割合 (学習漢字/常用漢字)
恋	10	56.06% (37/66)
香	9	59.52% (25/42)
彼	8	50.00% (31/62)

表 7_2 同一複雑度に占める学習漢字の割合

字種	複雑度	割合 (学習漢字/常用漢字)
恋	3.88	47.74% (95/199)
香	3.58	55.87% (100/179)
彼	3.79	58.82% (110/187)

2. 6. 2 音・訓

出現頻度が高くても、造語力（熟語の構成能力）が低く、訓のみ、あるいは訓中心に使用（例：濡、覗）される場合がある。音訓の頻度を見ておこう。下記の表 8_1 から 8_3 は各字種を含む上位 10 位の語句を示したものである。（カタカナ文中の語句、未知語は対象としていない。）

音訓の現れ方（上位 10 位）は、「恋」では、62.53%が訓、29.70%が音である。その比率は、67.79 対 32.22 である。「香」では、訓 23.78%、音 16.66%、その比率は、52.12%対 40.98%である。「彼」では、訓 94.93%、音 0.18%、その比率は 99.81%対 0.19%である。これらの中で注目したいのは、「彼」の訓の割合である。99.81 対 0.19 とほとんどが訓である。

表 8_1 「恋」を含む教育基本語彙の頻度・割合

読み	語形	頻度	頻度%	音訓
コイ	恋	4002	32.723%	訓
レンアイ	恋愛	3270	26.738%	音
コイビト	恋人	3031	24.783%	訓
シツレン	失恋	298	2.437%	音
ハツコイ	初恋	248	2.028%	訓
コイシイ	恋しく	164	1.341%	訓
コイシイ	恋しい	127	1.038%	訓
ヒレン	悲恋	64	0.523%	音
コイナカ	恋仲	40	0.327%	訓
コイシイ	恋し	36	0.294%	訓

表 8_2 「香」を含む教育基本語彙の頻度・割合

読み	語形	頻度	頻度%	音訓
カオリ	香り	4319	23.780%	訓
コウ	香	1022	5.627%	音
コウスイ	香水	650	3.579%	音

センコウ	線香	367	2.021%	音
コウデン	香典	234	1.288%	音
コウリョウ	香料	222	1.222%	音
コウバシイ	香ばしい	181	0.997%	音
ショウコウ	焼香	157	0.864%	音
コウバシイ	香ばしく	106	0.584%	音
コウノモノ	香の物	46	0.253%	音

表 8_3 「彼」を含む教育基本語彙の頻度・割合
 (*は代名詞であることを示す。)

読み	語形	頻度	頻度%	音訓
カレ	*彼	66958	51.117%	訓
カノジョ	*彼女	36934	28.196%	訓
カレラ	*彼ら	17786	13.578%	訓
カノジョたち	*彼女たち	1187	0.906%	訓
カレラ	*彼等	1048	0.800%	訓
カノジョら	*彼女ら	340	0.260%	訓
カノジョたち	*彼女達	95	0.073%	訓
ヒガ	*彼我	86	0.066%	音
オヒガン	お彼岸	83	0.063%	音
ヒガンゲ	彼岸花	71	0.054%	音

音・訓の数が、学習漢字選出に影響する可能性があることを指摘したが、それは、常用漢字選定において示している次のような考え方である。

<常用漢字として：引用者注> 入れないと判断した場合の観点>

① 出現頻度が高くても、造語力（熟語の構成能力）が低く、訓のみ、あるいは訓中心に使用（例：濡、覗）（文化審議会答申『改訂常用漢字表』）

「恋」「香」「彼」は、いずれも、音訓の読みを持っている。しかし、「彼」の場合、訓（「かれ」「かの」）中心である。「彼」を含む教育基本語彙の頻度の内、「音」が占める頻度（%）は、0.183%にすぎない。それに対し、「訓」が占める頻度（%）は 94.930%である。（教育基本語彙に含まれる「彼」の頻度であるため 100%にはならない。）「訓」の造語力という点では、教育基本語彙では、「彼」と「彼女」のみである。造語力が高いとは言えない。（なお、「彼」の使用頻度は 88 位／1945 字中である。）

学習漢字には、造語力が低く、訓中心の字種はないのだろうか。「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」を見ていくと、中、高等学校には音訓の振り分けられていず、音または訓が小学校にただ 1 つのみ振り分けられている字種が 194 字見られる。音訓の割合は、「音」のみが 191 字、「訓」のみが 3 字（「貝」「株」「箱」）で、訓（小学校割り振り）のみの漢字が学習漢字には希有であること（1.55%）が分かる。しかし皆無ではない。

これらの 3 字種（「貝」「株」「箱」）の造語力はどうだろうか。教育基本語彙（教育基本語彙集 7 種）でこれらの漢字を含む語彙を見ると、下記のように「貝」が 2 例、「株」が 3 例、「箱」が 16 例見られる。

「貝」:「貝」「貝殻」、「株」:「株」「株式」「切り株」

「箱」:「空き箱」「葉箱」「靴箱」「粉箱」「ゴミ箱」「賽銭箱」「重箱」「巣箱」「玉手箱」「跳び・飛び箱」「箱」「箱根」「びっくり箱」「筆箱」「本箱」「郵便箱」

訓のみの使用であっても「箱」の造語力は低いとは言えない。しかし、「貝」、「株」の造語力は高いとは言えないだろう。造語力が低く、訓のみの漢字であっても学習漢字として選出されている希有な例と言えよう。

常用漢字の選定においては、「出現頻度が高くても、造語力（熟語の構成能力）が低く、訓のみ、あるいは訓中心に使用」される場合は、選出しないとされている。「株」の頻度は559位/1945字中（配当学年6年）であるが、「貝」の頻度は1582位/1945字中（配当学年1年）であり、出現頻度からも妥当性を欠く字種である。（ちなみに「箱」は1100位/1945字中（配当学年3年）である。）

それではなぜ「貝」「株」が選択されているのであろうか。そこには、常用漢字には見られない学習漢字特有の選定の視点である「他教科において必要な語彙である」ということが考えられる。小学校の他教科における使用例を「教科書コーパス」によって見ると、「貝」は、理科に3例、社会に4例見られ、「株」は、理科に9例見られる。他教科において必要とされる語彙であるが故に選定されたものと推測することができる。

「彼」はどうだろうか。「彼」の使用頻度は88位/1945字中であり、使用頻度からすれば、学習漢字の資格ありということになる。しかし、訓中心に使用されており、かつ造語力も弱い。また、他教科の基本的語彙といったこともない。このように考えると学習漢字として必要性はそれほど高いとは言えないように思われる。

2. 7 固有名詞、代名詞について

2. 7. 1 固有名詞

常用漢字では、固有名詞は扱わないとしている。ただし、新常用漢字表では、新たに県名やそれに準ずるものは認められている。「香」が用いられている県名に、「香川県」がある。学習漢字選定において、常用漢字がすべての県名を上げたことに対応して、小学校でもすべての県名の漢字を教えるか否かの判断が必要になる。

学習漢字選定において、県名を一般の固有名詞と同等に扱うとすれば、「香」の使用頻度は常用漢字1945字中1100番台（固有名詞としての使用を除いた頻度による）となり、使用頻度はそれほど高いとは言えないものの学習漢字としての可能性がありということができる。可能性ありとしたのは、1006位（学習漢字の数）以内には入っていないが、1100位以内の漢字の中には、学習漢字の条件に入らないものがあると考えられるからである。実際、1100位以内の漢字には、「込」191位、「違」218位、「施」252位、「及」291位、「歳」317位、等々の語が見られる。

2. 7. 2 代名詞

「彼」は人称代名詞であるが、学習漢字に見られる人称代名詞としては、私（6年）40位/1945字がある。このことから、人称代名詞であることが学習漢字であることを否定する理由にはならない。むしろ、人称代名詞としての使用にはほぼ限定されていることが、つまり、造語力の低さが学習漢字であることを拒んでいるのである。

ちなみに、「私」を含む教育基本語彙としては、「私」「私鉄」「私用」「私立」「私達」がある。造語力は低いとは言えない。

2. 8 まとめ

これまで、親密度が高いにもかかわらず学習漢字となっていない3語「恋」「香」「彼」について幾つかの視点から見てきた。その結果として、次のことを指摘しておきたい。

(○、◎、×は、各々可能性がある、可能性が高い、可能性が低いことを示す。以下同)

(1) 教育基本語彙（教科書語彙を含む）としての使用頻度：

「恋」○、「香」○、「彼」◎

(2) 習得率

「恋」○、「香」○、「彼」◎

(3) 画数、複雑度、音訓、からは、学習漢字として妥当性を否定できない。

画数 「恋」○、「香」○、「彼」○

複雑度 「恋」○、「香」○、「彼」○

音・訓 「恋」○、「香」○、「彼」○

(4) 造語力

「恋」○、「香」○、「彼」×

上記(1)～(4)から、次のことを結論としたい。

①「恋」「香」は、学習漢字としての資格はないとは言えないが、それほど高くない。

②「彼」は、その使用が訓中心でかつ人称代名詞にほぼ限定されており、学習漢字の資格は低い。

おわりに

本研究では、親密度が高いものの学習漢字に入っていない漢字「恋」「香」「彼」を様々な観点から考察し、これらの3字種、とりわけ「彼」は学習漢字としての可能性が高くないことを示した。

残された課題として、新常用漢字において取り入れられた新たな方針である、県名の用いられている字種がある。また、使用頻度高位であるにもかかわらず学習漢字に取り入れられていない字種（「込」191位、「違」218位、「施」252位、「及」291位、「歳」317位、等々）の検討も今後の課題として残されている。

<注>

(1)『日本語の語彙特性 第5巻』による。評価は、低(1)～高(7)の7段階評定。文字親密度評定実験の被験者は20歳台の日本人男女各12名計24名であることに留意しておきたい。

(2)「中納言」ではカタカナ文中の語、および未知語の品詞名が示されていないため。ちなみに、カタカナ文中の「恋」「香」「彼」を含む語は、恋3例、香2例、彼：40例、未知語は、「恋」1例、「香」10例、「彼」4例が見られた。

(3)中納言による形態分析には（特に「彼」を含む語彙には）、幾つかの明らかな過ちが見られるが本研究の結論には及ぼす影響は小さいと思われる。

(4)田中牧郎・代表(2011)「教科書コーパス語彙表」による。

(5)29都道府県の中学校第1学年の生徒29校99学級3017人を対象に、平成16年(2004年)9月～12月に行った学校修了後の漢字習得状況調査。

(6)『日本語の語彙特性 第5巻』による。

<引用・参考文献>

- (1) 文部省・文化庁（1952-2002）『国語審議会報告書』1~22
- (2) 文部省（1957）『教育漢字の学年配当（漢字学習指導実験調査報告）』教育出版株式会社
- (3) 小林一仁（1978）「教育漢字」再検討ノート（『文藝言語研究・言語篇』第2巻 筑波大学文藝・言語学系）
- (4) 内閣告示（1981）「常用漢字表」（昭和56年10月1日）
- (5) 浜本純逸（1987）「教育基本語彙の選定」（『国語語彙史の研究Ⅷ』和泉書院）
- (6) 小林一仁（1988）「教育漢字の歴史」（『漢字講座』12巻 明治書院）
- (7) 山本建雄（2000）「漢字漢語の指導の研究－漢字学年別西己当表の成立過程を中心に－」（『長崎大学教育学部紀要・教科教育学』vol.35, p.17-30; 2000）
- (8) 有元秀文（2006）「児童生徒の「学習漢字」と語彙の習得に関する基礎的研究」科学研究費補助金研究成果報告書
- (9) 文部省・文部科学省（2008）『小学校学習指導要領』（2009年文部科学省告示、2011年施行）
- (10) 国立国語研究所（2009）『教育基本語彙の基本的研究－増補改訂版－』明治書院
- (11) 文化審議会（2010）「改訂常用漢字表」（平成22年6月7日）文化審議会答申
- (12) 内閣告示（2010）「常用漢字表」（平成22年11月30日）
- (13) 丹保健一（2011）「教育漢字「蚕」について－使用頻度と教育基本語彙度から－」（『語彙研究』9号）
- (14) 丹保健一（2012）「教育漢字外漢字「甘」について」（三重大学教育学部紀要 第63巻）
- (15) 丹保健一（2013）「「学年別漢字配当表」の字種をめぐって－「環」、「尺」－」（三重大学教育学部紀要 第64巻）
- (16) 丹保健一（2014）「「学年別漢字配当表」の字種選定をめぐって－頻度下位10字種を中心に－」（三重大学教育学部紀要 第65巻）

<言語資料>

- (1) 近藤・天野（1999_a）『日本語の語彙特性 第1巻 単語親密度』三省堂
- (2) 近藤・天野（1999_b）『日本語の語彙特性 第5巻 文字親密度』三省堂
- (3) 国立国語研究所（2009）『教育基本語彙の基本的研究－増補改訂版－』明治書院
- (4) 国立国語研究所（2011）『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（「中納言」）
- (5) 田中牧郎・代表（2011）「教科書コーパス語彙表」（『特定領域研究 代表田中牧郎「日本語コーパス 言語政策班 最終成果」CD-ROM（報告書、語彙表、漢字表））